

別冊 2

長崎平和マラソン

基本計画書



平成31年（2019年）4月
長崎平和マラソン実行委員会

目 次

I.	開催趣旨	
	開催趣旨	1
II.	大会開催概要	
	1.大会概要	2
	2.開催目的	3
	3.大会コンセプト	4
	4.大会ロゴマーク	4
III.	コース	
	1.コース設計の基本方針	5
	2.スタート・フィニッシュ地点の考え方	6
	3.コースの特徴	7
	4.コース図	8
IV.	大会運営	
	1.大会運営の基本方針	9
	2.競技計画	9
	3.運営計画	14
V.	関連事業	
	関連事業計画	16
	①主催事業	16
	②協力事業	17
VI.	協賛企業	
	協賛企業	18
VII.	広報	
	広報	19
VIII.	大会運営費（概算）	
	大会運営費（概算）	20
IX.	スケジュール表	
	スケジュール表	21

開催趣旨

1945年（昭和20年）8月9日、長崎市に投下された一発の原子爆弾により、まちは壊滅的な被害を受け、多くの尊い人命が奪われました。戦後、長崎市民は、国内外からの多くの支援を受けながら、美しい故郷を取り戻すために努力を重ね、この苦難を乗り越えてきました。

そして、被爆後75年は草木も生えないだろうと言われた長崎のまちを見事に復興させ、同時に「長崎市を最後の被爆地に」との願いを、世界に向けて発信し続けてきました。

長崎平和マラソンは、被爆から75年の節目を迎える2020年に、これまで長崎市では実現が難しいとされたフルマラソンを、被爆地長崎から核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向けた平和のメッセージを発信するための大会として開催し、人々がスポーツを楽しむことのできる平和なまち「NAGASAKI」を十分に実感していただけるようなさまざまな取組みを行います。

また、長崎市スポーツ推進計画の基本理念である「する・みる・支えるスポーツの振興」のとおり、参加ランナー、沿道の応援、ボランティアが大会を通じて交流を深め、長崎市のスポーツの振興、交流人口の拡大及び地域経済の活性化につなげることを目指します。

Ⅱ. 大会開催概要

1. 大会概要

- ◆名 称 長崎平和マラソン
- ◆開催日 2020年11月29日(日)
- ◆スタート 午前9時
- ◆制限時間 6時間
- ◆参加人数 最大1万人
- ◆開催種目
 - ・フルマラソン
 - ・ファンラン



2. 開催目的

1 平和の発信

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた平和のメッセージを国内外に発信する



2 スポーツの振興

する：スポーツに取り組む（楽しむ）市民を増やす
 みる：スポーツを応援（観戦）する市民を増やす
 支える：スポーツをサポート（ボランティア）する市民を増やす



3 スポーツを通じた交流人口の拡大

訪れる全ての人々に 長崎の魅力を余すところなく
 発信しリピーターにつなげる



4 地域経済の活性化

宿泊や飲食、観光での経済効果を創出する
 大会開催による地元業者の受注機会を増やす



Ⅱ. 大会開催概要

3. 大会コンセプト

核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けたメッセージを発信する大会

平和について、一人ひとりが自分たちに何ができるのかを問いつつ、平和を愛する人々の輪を次の世代に引き継いでいくための平和を実感できる大会を目指す。

フルマラソンができる機会の提供と本市スポーツ振興を図る大会

市民の手で見事に復興された被爆地長崎の街並みを駆け抜け、平和であるからこそスポーツができる喜びを実感できる機会にするとともに、大会を支えるボランティアや応援する観客が、それぞれフルマラソンを通じてつながることで、お互いのふれあいを大切にする大会を目指す。

長崎の魅力を発信し交流人口の拡大による地域経済の活性化につなげる大会

長崎市を訪れる全ての人々に対し、心のこもったおもてなしでお迎えし、長崎市が培ってきた歴史や文化、景観と言った異国情緒あふれる魅力を感じてもらえる大会とし、長崎の魅力を余すところなく全国に発信することを目指す。

コース

長崎港周回コース

長崎の平和と魅力を感じる6つのエリアから構成。

開催日

2020年11月29日（日曜日）

気候・気温や他の大会との重複、観光のオン・オフシーズンを考慮。

スタート時刻

午前9時／フルマラソン

交通規制のほか、参加ランナーの集合・整列に要する時間を考慮。

制限時間

6時間

タフなコース設定のためトレーニングを積んだランナーの参加を促すとともに、交通規制による渋滞への影響を考慮。

参加人数

最大1万人

国内外から多くの参加者を募ることや、整列・走行の安全性を考慮。

4. 大会ロゴマーク

平和をイメージし、長崎らしくデザインカにすぐれたものを制作します。

1. コース設計の基本方針

大会コンセプトに基づき、平和に感謝し、長崎の街並みと魅力を満喫でき、ランナーと市民が触れあいながら坂の街長崎を体感できるコースとします。

1. 被爆地長崎を走ることで、次の世代に平和の大切さを引き継いでいくことができること。
2. 2つの世界遺産を有する長崎の異国情緒を醸し出す歴史遺産や文化、景観を満喫できること。
3. スタート、フィニッシュ地点は、平和の発信に最適であり、かつ、スペース、イベント開催場所を確保できること。
4. 応援やおもてなしで、多くの市民がランナーと触れあうことができること。
5. ランナーやボランティア、応援者の安全が確保できること。
6. 主要な幹線道路を極力避け、迂回路の確保などにより、交通渋滞を抑制できること。
7. 日本陸上競技連盟の公認が取得できること。



2. スタート・フィニッシュ地点の考え方

平和を実感できる場所として最適であるとともに、大会の円滑な運営や、ランナーの利便性、交通渋滞への影響を考慮し、スタート・フィニッシュ地点を設定します。

スタート・フィニッシュ地点

平和公園 市営陸上競技場 周辺

《スタート・フィニッシュ地点の選定理由》

- 平和公園地区であり、平和のメッセージを発信する大会としては最適である。
- 路線バスや路面電車によるアクセスも良好で、JR浦上駅からも近く、参加者の集合が容易である。
- 市営陸上競技場や市営ラグビー・サッカー場、市民総合プール、市営庭球場、市営ソフトボール場、県営野球場及び松山町駐車場といったまとまったスペース、イベント開催場所を確保可能である。
- 主要国道206号線に影響を及ぼさないようにすることで、交通渋滞への影響を抑制できる。
- 原爆落下中心地や平和祈念像、原爆資料館への誘導案内が可能である。



3. コースの特徴

平和公園地区を発着点に平和の尊さと2つの世界遺産をめぐり、歴史のまち長崎を感じながら、鶴の港を堪能でき、坂の街長崎を体感できる、長崎港周回コース。

①被爆地長崎の核兵器廃絶の原点を見つめる

「平和公園」エリア



②被爆された方々が水を求め亡くなられたという事実を知る

「浦上川線」エリア



③長崎の玄関口として再開発が進み、新たな息吹を感じる

「長崎駅周辺再開発」エリア



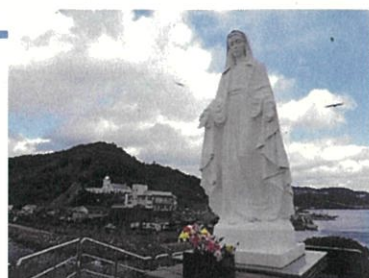
④居留地として栄え、国宝大浦天主堂や旧グラバー住宅といった世界遺産があふれる

「大浦海岸」エリア



⑤長崎港の海岸線を駆け抜け、鎖国時代に思いを馳せる

「戸町・小ヶ倉・女神・神ノ島」エリア



⑥造船の街長崎を支える三菱重工業長崎造船所の世界遺産の構成資産であるジャイアント・カンチレバークレーンや工場群を間近に見る

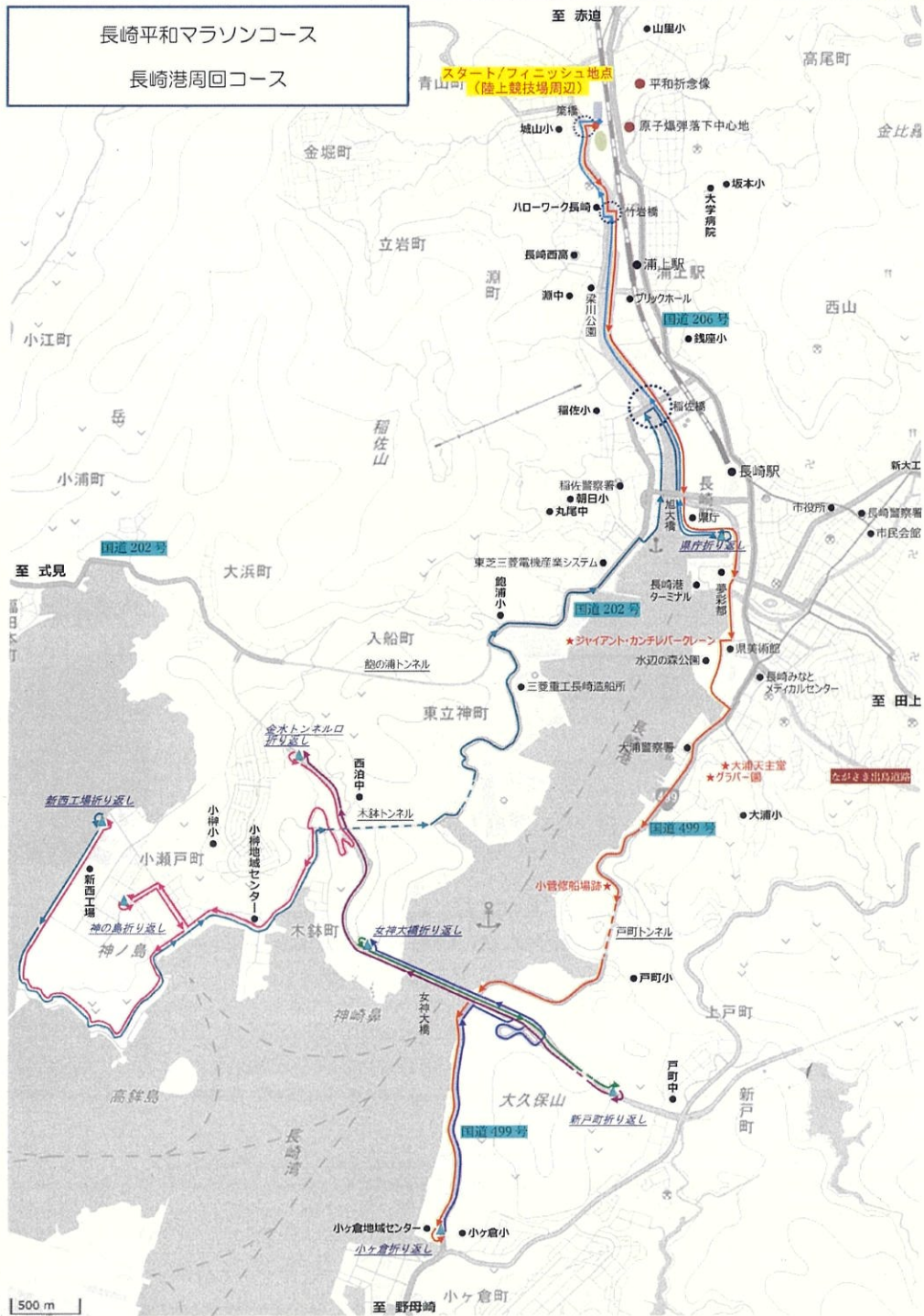
「立神・飽の浦」エリア



Ⅲ. コース

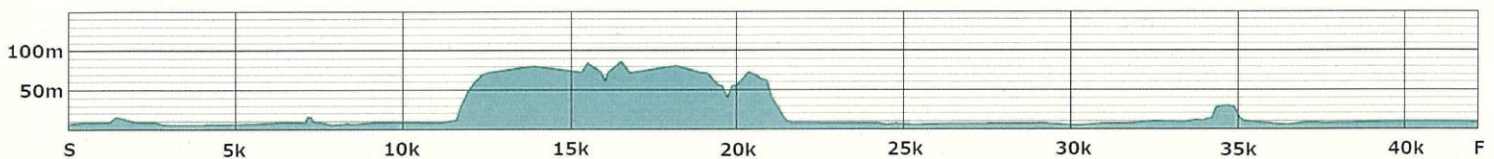
4. コース図

(1) コース図



※今後の調整により、一部コースを変更する可能性があります。

(2) 高低図



1. 大会運営の基本方針

◆大会の運営体制の構築

実行委員会、運営委員会の設立

- ・長崎平和マラソン実行委員会・・・大会の実行組織
- ・運営委員会・・・各団体の実務担当者で構成

◆協賛企業との連携

広く協賛企業を募り、充実した運営と賑わいのある大会を実現

◆ボランティア組織の構築

市民・企業から広くボランティアを募り、長崎らしいおもてなしを実現

2. 競技計画

(1) 競技種目

フルマラソンと同時開催種目としてファンランを開催します。

- ・ファンラン…フルマラソンの大会運営や交通規制等を考慮のうえ、開催場所、開催時間、走行距離、参加対象者を検討する。



(2) 有名選手やタレントランナー、地元出身芸能人等を招待

知名度の高いランナーやタレントランナー等の招待を目指します。

- ・平和を訴求する大会に賛同し平和のメッセージを発信してもらう。

IV. 大会運営

(3) 参加ランナー募集

国内外から多くの参加ランナーを募集します。

- ・市内又は県内参加枠の確保…市内又は県内在住者に優先出場権を付与する。
(エントリー数限定)
- ・県外参加枠の確保…宿泊ツアーや寄付申込ランナーに優先出場権を付与する。
(エントリー数限定)
- ・国外参加枠の確保…姉妹都市など国外参加者に優先出場権を付与する。
(エントリー数限定)
- ・身体に障害のある方にも参加しやすい運営の配慮を図る。

(4) 参加ランナーの受付

開催の目的やランナーの利便性、スムーズな運営などに配慮した受付方法を検討します。

(5) スタート・フィニッシュ

スタート・フィニッシュは、平和公園 市営陸上競技場 周辺とします。

(スタート)

- ・大会実行委員会による開会式、特別ゲストスターターを検討する。
- ・開会式の中で、平和の象徴であるハト風船を飛ばすなどの平和をイメージさせる演出を行う。
- ・スタート地点に平和をイメージさせるオブジェなどを設置する。
- ・整列のため、ランナー専用エリアをブロック別に設定する。
- ・男女別更衣会場、手荷物預かり会場、トイレ（仮設含む）など導線を意識した最適な配置とする。
- ・雨天時に備えたランナー待機所を確保する。

(フィニッシュ)

- ・完走記念品及び記録証の配付エリアへの導線、配置を検討する。
- ・手荷物渡し、更衣会場、おもてなしエリアへのスムーズな導線を確保する。
- ・ランナー「お疲れさまでした」給水エリアを配置する。

(6)ランナーの安全確保

ランナーのスムーズな走行と安全確保を図ります。

- ・車両、歩行者のコース内横断は原則禁止とする。
- ・可能な範囲でランナーと車両間の緩衝帯を設置する。



(7)給水・給食ポイント

コース上にランナーが利用する給水・給食ポイントを設置します。

- ・概ね5km地点以降に、2.5km～5km間隔に数箇所の給水所を設置する。
- ・給水所に併設し、15km地点以降に数箇所の給食所を設置する。
- ・給食は競技にとらわれず、長崎ならではのものを提供する。
- ・給水、給食の不足に注意しボランティアの「応援・励ましの声」など触れあい、おもてなしを充実させる。



(8)記録計測とITによる選手管理

公認大会を目指すため、通過記録を計測します。

- ・5km、10km、15km、中間点、20km、25km、30km、35km、40km地点で通過記録を計測する。
- ・通過確認のため、折り返し地点での記録を計測する。
- ・通過データを活用してランナーの現在位置を予測し、大会本部で集中管理を行う。

地点名 Point	スプリット Split	ラップ LAP	通過時間 Time
5km	00:18:01		00:23:01
10km	00:37:21	00:19:20	00:42:21
15km	00:57:34	00:20:13	10:02:34
20km	01:17:29	00:17:55	10:20:29
25km	01:37:34	00:22:05	10:42:34
30km	01:58:29	00:17:55	11:00:29
35km	02:17:34	00:22:05	11:22:34
40km	02:36:29	00:17:55	11:40:29
Finish	02:49:42	00:14:13	11:54:42

※ この記録は推定です。

IV. 大会運営

(9) 関門の設置

交通渋滞の抑制、円滑な大会運営のため設定された制限時間での関門閉鎖を実施します。

- ・閉鎖時刻に間に合わないランナーはバスに收容する。



(10) 沿道トイレ設置

沿道の公共施設、駐車場等のスペースに仮設トイレを設置します。



(11) 医療・救護

競技中の事故を未然に防ぐとともに、応急措置や救急搬送体制を確立します。

- ・事前メディカルチェックの実施による事故防止を図る。
- ・救護本部やスタート・フィニッシュ、コース沿道に救護所を設置する。
- ・救急車両の配備、動線、搬送計画を策定する。
- ・救急医師ランナー・AED隊を配置し、応急体制を確立する。



(12) ペースセッター

ランナーサービス向上のためペースセッターを配置します。

- ・「3時間」から30分刻みを目安にペースセッターを配置する。



(13) セレモニー

スタート前セレモニー及び大会上位入賞者への表彰式を行います。

- ・表彰は上位入賞者のみでなく、性別・年代別の表彰も行う。
- ・ステージセットを平和をイメージさせるデザインにする。



(14) 参加賞

参加者にとって思い出に残り、長崎の平和と魅力が伝わるような記念品を制作します。

- ・フルマラソンの参加者全員に配布する。
- ・記念大会に相応しい参加賞を制作する。
- ・大会の趣旨を考慮した長崎平和マラソンらしい参加賞を制作する。（平和をイメージさせるデザインなど）
- ・折り鶴再生紙を利用した記念品などを製作する。



(15) 完走賞

フルマラソンを完走したランナーに対して、完走した証となる完走賞を制作します。

- ・フルマラソンを完走したランナーに配付する。
- ・ランナーに喜ばれるような完走賞を制作する。
- ・大会の趣旨などを考慮したオリジナルのデザインで、平和のメッセージ性のある完走賞を制作する。



3. 運営計画

(1) ボランティア活動への参加案内

自治会、企業、スポーツ団体、文化サークル団体、学生等から幅広く募集します。

【活動内容】

受付、沿道、給水・給食、手荷物、救護所、案内・誘導など。

- 外国からの参加者向けに、通訳ボランティアガイドによるおもてなしを実施する。
- 長崎大学に事務局がある「やってみゅーでスク」の長崎市周辺7大学「学生地域連携活動支援事業（U-サポ）」による「学生ボランティアサポーター」による学生企画でのおもてなし等を働きかける。
- さるくボランティアガイドやピースボランティアガイドの観光、平和案内によるおもてなしを検討する。
- 給水、給食所の企画運営を検討する。



(2) コース沿道対策

コース沿線住民、企業等への交通規制に対する協力を要請します。

- 交通規制の周知、規制時の迂回路への誘導を図る。

市民、企業、地域団体等への応援・おもてなしを要請します。

- 市民、企業、地元社会人各競技チーム、学生等による沿道の応援を募集する。
- 水辺の森公園、女神大橋などでの応援スポットの設置を検討する。
- ステージをコース沿道に数箇所設置し、公募による演物（太鼓、ブラスバンド、ダンス等）を披露する。



(3) 交通対策

交通渋滞の抑制や交通規制の周知、規制時の迂回路への誘導を図ります。

- ・市民、企業等への交通規制、迂回路の周知、ノーマイカーデーの設定を行う。
- ・迂回路として有料道路であるながさき出島道路の利用に関し長崎県に協力を要請する。
- ・ランナーのスタート地点集合のため交通輸送対策を検討する（公共バス、路面電車の増便など）。
- ・ランナーの駐車場確保のためパーク・アンド・バスライドの可能性を検討する。
- ・コース沿線の警察署、消防署、バス事業者等との出入庫時及びコース走行時の綿密な連携と十分な協議を図る。
* 緊急車両の動線確保
- ・主要交差点でのランパス（ランナーを止めず、歩行者や車両をロープで囲い、係員の誘導で道路を横断させる方法）を検討する。



(4) 警備・誘導

ランナー、応援者の誘導と安全の確保を図ります。

- ・スタート地点へのスムーズな誘導を行う。
- ・スタート地点に整列のため、ランナー専用エリアを設置する。
- ・スタート、フィニッシュ、沿道での雑踏警備を行う。
- ・コース周辺の交差点からの一般車両の進入を防止する。



(5) 駐車場

ランナー向けの駐車場を準備します。

- ・かきどまり運動公園駐車場を候補地として確保する。
- ・駐車場利用は、遠方から参加するランナーをメインとする。



関連事業計画

事業の区分

関連事業は事業主体によって主催事業と協力事業の2つに分けられます。

①主催事業

主催者が主体となって実施する、長崎の魅力発信や開催気運の醸成事業。

- ・おもてなしイベント、沿道応援ステージ、1年前イベントなどを想定。
- ・マラソングッズ等の展示販売、地元特産品等の販売などを想定。

②協力事業

主催者以外の協賛企業や各種団体などが運営主体となる事業。

- ・平和団体による平和のメッセージ発信等に係る催しなどを想定。

①主催事業 ※具体的な計画は、実施計画で策定

(1)平和マラソン交流ゾーンの設置

フィニッシュ会場に隣接する市営ラグビー・サッカー場に企業出展ブースやステージ、長崎の特産品コーナーなど多彩な催しを開催。

(具体例)

◆出展ブース

- ・協賛企業によるマラソングッズ等の展示販売。
- ・地元特産品等の販売ブースなど。
- ・平和マラソンならではのサービスを行う。(戦時食など)

◆ながさき和華蘭広場

- ・長崎の人気メニューやB級グルメなどの出展。

◆にぎわいステージ

- ・表彰式のほか、市民参加による、お疲れさまイベントの開催。

◆ケアステーション

- ・マッサージ、柔道整復、はり、ストレッチなど。



(2) 応援・おもてなし

◆ 応援スポットの設置

- ・ 市民や応援観客のために応援スポットを設置。

◆ 沿道パフォーマンスエリアの設置

- ・ パフォーマンスエリアを数カ所設置し、公募により太鼓、ブラスバンド、ダンスなどを披露。



(3) インターネット等による情報発信

- ◆ コースや沿道の景観を事前に周知するため、動画映像をインターネットで発信。

- ◆ 大会当日、走行位置を確認できるインターネットサービスを実施。

(4) 開催に向けた気運の醸成

- ◆ 市内小中学生から平和のメッセージを発信。
- ◆ アーケード内や街灯に開催告知のバナーの設置。
- ◆ 市広報媒体を使った開催告知。
- ◆ 1年前イベント、100日前イベントの開催。

(5) 原爆犠牲者の慰霊

- ◆ 参加者が原爆犠牲者への慰霊を行うことができるように献花台を設置。

(6) 平和発信ゾーンの設置

フィニッシュ会場に併設し、参加者一人ひとりが、世界に向けた平和のメッセージを行動として示すゾーンを配置。

(具体例)

- ◆ 平和メッセージボードの設置。
- ◆ 折り鶴制作スペースの設置。
- ◆ 平和メッセージを発信するものを身に着けて出走することを検討。
- ◆ 子供たちが平和への思いを描いた絵（キッズゲルニカなど）の展示や、ピクチャーサービスのコーナーの設置。



② 協力事業

市民と協力し、大会の気運醸成や平和のメッセージ発信等に係る催しを実施する。

協賛企業

(1) 基本方針

誘致企業や地元企業から多くの協賛への理解を得ることで、地域全体で長崎平和マラソンを支援する仕組みを構築します。

(2) 選定方針

- ◆長崎平和マラソン開催の趣旨に賛同いただける企業
- ◆長崎のスポーツ振興に理解のある企業
- ◆物的、経済的な支援などが期待できる企業
- ◆長崎の地元企業またはゆかりのある企業
- ◆暴力団等の反社会的な組織とのつながりがない企業

(3) 協賛企業の区分

- ◎特別協賛企業・・・・・・・・・・大口協賛（1社～4社程度）
- 協賛企業・・・・・・・・・・中口協賛（複数社）
- 応援企業・・・・・・・・・・小口協賛（企業、団体、個人など多数）

(4) 協賛による権利項目

- ◆ゼッケン広告
- ◆スタート・フィニッシュ会場等での広告ボード等の設置
- ◆スタート・フィニッシュゲートへの企業名ロゴ掲出
- ◆ホームページ、プログラム、ポスターなど公式制作物への掲出
- ◆飲料、ウェア、自動車、時計等の物的支援によるPR
- ◆平和マラソン交流ゾーンでの出展スペース
- ◆広告や自社商品における大会名、ロゴマークの使用権
- ◆参加者へのサンプリング調査
- ◆大会優先出場枠を確保
- ◆ボランティア優先枠を確保 など

広報

(1)基本方針

大会開催に向け各種媒体等を活用し開催の周知と気運の醸成を図るとともに、長崎の魅力発信、国内外からの参加者募集に努めます。

(2)広報区分

◆市・県内向け…開催周知（開催日、交通規制、沿道応援）・気運の醸成・参加者募集

- ・広報ながさきや大会ホームページ、自治会回覧、個別訪問、説明会などによる周知
- ・地元新聞社、テレビ、ラジオ、タウン情報誌等による広報PR
- ・路面電車、路線バスなど交通媒体を活用した広報PR
- ・1年前イベント、100日前イベントの開催による気運の醸成
- ・被爆75周年記念事業と連携した広報PR
- ・ICTを使用したエントリーツールの活用

◆県外向け…開催周知、参加者募集

- ・ランニング情報誌、ランナー向けインターネットサイトを活用した広報PR
- ・SNSを活用した情報発信（インスタグラム、ツイッター、フェイスブックなど）
- ・市及び県の東京事務所を通じた情報発信
- ・他都市のマラソン大会等での大会PR
- ・非核宣言自治体や長崎市との国内での交流都市への働きかけ
- ・ICTを使用したエントリーツールの活用

◆国外向け…参加者募集

- ・姉妹都市、市民友好都市等への働きかけ
- ・大会ホームページ（英語・中国語・韓国語）での広報PR
- ・ICTを使用したエントリーツールの活用

(3)広報計画

年度	項目	対象	内容
2018年 (平成30年)	関心喚起広報	市内	開催日、交通規制の協力周知 気運の醸成
2019年 (令和元年)	事前広報 各種募集広報	国外 市・県内外	大会開催を告知 参加者、ボランティア
2020年 (令和2年)	各種募集広報	国外 市・県内外	大会開催と募集を告知
	本番広報	市・県内外	交通規制、迂回路、通過時間を告知

VIII. 大会運営費（概算）

大会運営費（概算）

（単位：千円）

項目	内容	金額
1. 広報費	HP制作費、大会開催PR、 ポスター、募集パンフ作成等	15,000
2. 競技運営費	会場設営、コース設営、給水・給食、 医療救護、ボランティア、参加記念品等	138,697
3. 安全対策費	会場警備、交通誘導	31,677
4. 関連イベント費	開会式、表彰式、 平和マラソン交流ゾーンイベント	5,000
5. 事務局費	実行委員会運営費	21,361
合 計		211,735

（注）大会準備及び運営支援業務委託費27,000千円、事務費1,028千円は除く。

- * 平和の発信に関する運営費は、今後算出予定であり、実施計画において計上。
- * 積算にあたっては、バイサイドマラソンの実績を参考に積み上げ、それを他都市の大会と比較しながら見込んだものであり、今後策定する実施計画の中で収入・支出を算定。

スケジュール表

		全体計画等	企画広報関係	競技運営関係	交通対策関係	住民対策等	
2018	11						
	12				●警察署個別協議		
2019	1		●開催周知チラシ配布 (自治会、事業所)				
	2			●距離仮計測			
	3	●基本計画策定	ロゴマークの作成	●コース仮確定			
	4			●コース確定	●ブロック別規制時間調整		
	5			●コース検定			
	6			●コース公認			
	7		●工口開設	開催告知制作物作成 ランナー・ボランティア募集告知	各種計画・マニュアルの作成 (記録計測、給水・収容、審判配置、医療救護、ボランティア配置)	各種計画・マニュアルの作成 (警備員配置、規制看板設置、車両)	
	8	●実施計画策定					
	9						
	10						
	11						
	12		●1年前大会周知				
2020	1						
	2						
	3	●記念品デザイン発表		ランナー募集			
	4				●道路占用許可		
	5				AED研修		
	6						
	7						
	8	●コールセンター開局					
	9	●パンフレット納品					
	10	●大会本部設置					
	11					●道路の修繕	
	12					●道路使用許可	
2021	1	●報告書作成					
	2						
	3						